

不適合評価指標（CAQ影響度）

福島第一原子力発電所では、不適合評価指標について、原子力安全への影響度（CAQ※）に応じて、下記の通り区分しています。

CAQ影響度	
CAQ高	原子力安全の裕度が著しく低下した事象 もしくはその可能性が高い事象
CAQ中	安全確保の機能又は性能に影響を及ぼす事象 もしくはその可能性が高い事象
CAQ低	原子力安全（品質）に影響を及ぼす事象 もしくはその可能性が高い事象
Non-CAQ	リスクを考慮しても原子力安全（品質）に影響しない事象

※：CAQ（キャック）とは、原子力安全に影響を及ぼす状態のこと（Condition Adverse to Qualityの略）。
※：2026年8月1日以降の審議分から、ATENA（原子力エネルギー協議会）から示された不適合管理プロセスの改善方針に則り、原子力安全への影響を主軸に置いた「CAQ影響度」に変更しています。

【参考】旧不適合管理の区分 （2017年8月1日～2026年7月31日 審議分）

2026年7月31日までに審議した不適合については、下記の通り区分しています。

グレード	
GⅠ	発電所施設運営に重大な影響を与える事象
GⅡ	発電所施設運営に影響を与える事象
GⅢ	軽微な不適合事象